

平成 29 年度碧南市藤井達吉現代美術館協議会次第

日時 平成 30 年 3 月 26 日（月）午後 2 時～

場所 碧南市藤井達吉現代美術館 1 階多目的室

1 あいさつ

2 協議事項

(1) 美術館運営方針及び事業概要について

(2) 平成 29 年度活動状況について

(3) 平成 30 年度活動計画について

3 報告事項

(1) 平成 29 年度第 1 回、第 2 回収集部会の結果について

4 連絡事項

平成29年度
碧南市藤井達吉現代美術館
協議会資料

碧南市藤井達吉現代美術館
平成30年3月26日

目次

1 協議事項

(1) 美術館運営方針及び事業概要

①美術館運営方針	1
ア 基本理念	
イ 基本的性格	
ウ 組織	
エ 予算	
オ 施設	

②事業概要	4
ア 企画展	
イ 常設展	
ウ 教育普及	
エ 収集・保管	
オ 調査研究	

(2) 平成29年度活動状況

ア 企画展	
イ 常設展 「藤井達吉 人と作品展 29」	
ウ 常設展 「碧南の歴史と文化」	
エ 共催展等	
オ 教育普及	
カ 保存・修復	
キ 調査研究	
ク 所蔵作品貸出	

(3) 平成30年度活動計画

ア 企画展	
イ 常設展 「藤井達吉 人と作品展 30」	
ウ 常設展 「碧南の歴史と文化」	
エ 共催展等	
オ 教育普及	

カ 保存

キ 調査研究

2 報告事項

(1) 平成29年度第1回、第2回収集部会の結果…………… 36

1 協議事項

(1) 美術館運営方針及び事業概要

①美術館運営方針

ア 基本理念

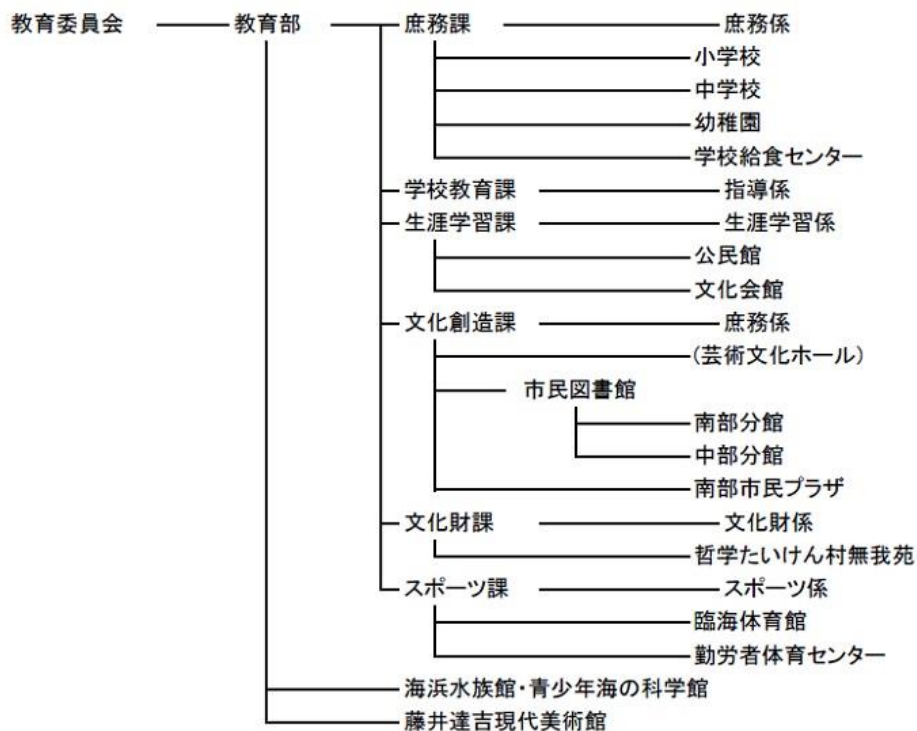
当地出身で日本近代工芸の先駆者のひとりであった藤井達吉の顕彰、子供たちを始め幅広い世代へ向けた教育事業、まちづくりの拠点施設としての役割という柱のもと、美術に関わる情報を発信し、生活の豊かさや心のゆとりをもたらす場として、市民に親しまれる美術館を目指します。

イ 基本的性格

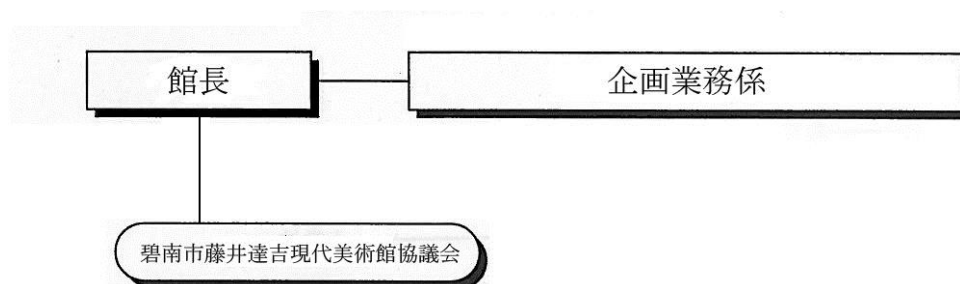
- (ア) 日本近代工芸の先駆者のひとりであった藤井達吉を顕彰します。
- (イ) 過去から未来までを常に視野に入れていた藤井達吉の精神を見出せる現代の作家を発掘し、若者に対する広場と創造の場として全国に発信します。
- (ウ) 新しい芸術を身近に提供することで市民の芸術文化の向上を支援し、子供たちの豊かで未知なる感性を伸ばして未来を見据える力を育てます。
- (エ) 地域の歴史や文化に焦点をあてた研究を行います。

ウ 組織

(ア) 行政組織図



(1) 組織体制



(7) 人員配置

館長 非常勤特別職 1 人
 副館長 課長級 1 人
 企画業務係 係長級 1 人 (事務員)、係長級 2 人 (学芸員)、
 主事級 2 人 (学芸員)、臨時職員 3 人

エ 予算

平成 29 年度予算状況

(単位：千円)

	美術館 事務管理 事業	美術館 協議会 運営事業	美術館 施設管理 事業	企画展 開催事業	美術品 運営事業	彫刻維持 管理事業	合計
予算	44,778	196	26,941	56,823	16,794	2,114	147,646
特定財源	0	0	268	10,412	0	0	10,680
一般財源	44,778	196	26,673	46,411	16,794	2,114	136,966

平成 30 年度予算要求状況

(単位：千円)

	美術館 事務管理 事業	美術館 協議会 運営事業	美術館 施設管理 事業	企画展 開催事業	美術品 運営事業	彫刻維持 管理事業	美術館 収蔵庫等 増設事業	合計
予算	45,757	210	23,681	65,989	18,933	2,129	35,819	192,518
特定財源	0	0	267	18,935	0	0	26,800	46,002
一般財源	45,757	210	23,414	47,054	18,933	2,129	9,019	146,516

オ 施設

建築概要

名称	碧南市藤井達吉現代美術館
所在地	愛知県碧南市音羽町一丁目1番地
敷地面積	1,990m ²
建築面積	820m ²
延床面積	2,425m ²
階数	地下1階、地上3階、塔屋1階
最高高さ	16.6m
工事種別	増築、用途変更
構造種別	鉄骨造、鉄筋コンクリート造

建築主	碧南市
設計監理	株式会社日本設計 名古屋支社
施工	(建築工事) 白竹建設株式会社 (電気設備工事) 衣浦電気工事株式会社 (空調設備工事) 株式会社桶元 (衛生設備工事) 株式会社榊原設備工業所

仕上げ	(屋根) 日本瓦一文字葺 シリコンポリエステル樹脂塗装カラーステンレス鋼板 (外壁) 鋼製430ルーバー 施釉セッコ器質タイル (建具) アルミサッシュ (展示室) 床:タイルカーペット 壁:石膏ボード+調湿建材、ガラスクロスエマルジョンペイント 天井:エクスバンドメタル (収蔵庫) 床:ビニル床シート 壁:片面アルミフィルム張(庫内側)石膏ボード+調湿パネル 天井:片面アルミフィルム張(庫内側)石膏ボード+ロックウール化粧吸音板
電気設備	(電力引込) 架空引込方式1回線 (受変電設備) 三相3線式6,600V(屋外閉鎖型) 幹線 照明 単相 3線式 200/100V 200KVA 動力 三相 3線式 200V 300KVA 電話 引込 10回線 防災 自動火災報知設備、非常放送(兼用)

空調設備	(熱源) エネルギー:電気 装置:空気熱源ヒートポンプ (空調) 個別方式(展示室1、2、収蔵庫)、カセット式 (換気) 中央式(1種)、個別式(1種、3種) (排煙) 自然排煙方式、機械排煙方式
------	--

衛生設備	(給水) 上水(引込口径40、直結給水) (給湯) 個別式(電気)、貯湯式 (排水) 屋内排水分流式 屋外合流 屋外排水下水道放流(汚水、雑排水) (消火) 屋内消火栓、窒素ガス消火設備
------	---

昇降機	機械室レス 1基 (1000kg積 11人乗 45m/min W1.6m×D1.5m×H2.6m 車椅子仕様・視覚障害者仕様)
-----	--

設備概要

展示保存環境

空気調和	区分	設定温度 (目標値)	温度変化	設定湿度 (目標値)	湿度変化
	展示室	22℃	±2℃	55%	±5%
	収蔵庫	22℃	±2℃	55%	±5%

照明: 全て紫外線防止、調光可能。

区分	照明器具
展示室1、2、3	蛍光灯直接照明、スポットライト(着脱式)
展示ケース(展示室2)	蛍光灯、スポットライト(着脱式)
展示室4	スポットライト(着脱式)

作品展示: ワイヤーによる壁面展示、小型作品は壁面釘止め可能。
固定展示ケースのほか移動型展示ケース、移動型展示壁等保有。

区分	階数	床材	面積 m ²	天井高 m	床耐 荷重 kg/m ²	固定 壁長 m	可動 壁長 m	展示 ケース長 m
展示室1	2階	タイルカーペット	193	3.2~6.4	350	47.3	30.0	—
展示室2	2階	タイルカーペット	177	2.7	500	35.5	—	10.0
展示室3	1階	タイルカーペット	83	2.7	290	29.2	—	—
展示室4	B1階	タイルカーペット	104	2.6	500	26.7	—	—

収蔵・保管設備	区分	階数	備考
	収蔵庫1	3階	78m ²
	収蔵庫2	3階	70m ²
	一時保管庫	1階	19m ²
	荷解室	1階	56m ²
	搬入口	1階	3.0×3.0m
	昇降機	1台	兼用

教育普及等設備	区分	階数	備考
	多目的室	1階	96m ² 展示室使用可
	創作室	B1階	63m ²

防災設備・体制

防火	自動火災報知設備 屋内消火栓 窒素ガス消火設備(収蔵庫)
防犯	開館時には展示室内に常時監視員配置、閉館時には、機械監視警備。 監視カメラ(事務室でモニタ可能)

(当館パンフレットより)

② 事業概要

ア 企画展

藤井達吉の顕彰にふさわしい企画のほか、美術の様々な領域を視野に入れて、優れた美術作品を市民に紹介していきます。また、地域の歴史や文化に焦点をあてた歴史系の企画展も定期的に行います。

<企画方針>

- (ア) 藤井達吉の創作活動を紹介する展覧会
- (イ) 藤井達吉の精神を反映した内容の展覧会
- (ウ) 地域の歴史や文化を顕彰する展覧会
- (エ) 市民の文化・教養の向上に資すると思われる展覧会

イ 常設展

藤井達吉に関わる作品及び資料の公開の場として運営します。また、地域に関わる歴史的資料の展示の場としても努めます。

ウ 教育普及

幅広い年代の人々に美術に親しんでもらえるよう、様々な教育普及事業に取り組み、美術情報の提供に努めます。学校教育をはじめ他の教育活動との連携を図っていきます。また、市民の創作活動の場として、市民ギャラリーも併設します。

エ 収集・保管

「市民の財産」といえるコレクションの形成に努め、その作品の恒久的な保存に努めます。

<収集方針>

- (ア) 藤井達吉の芸術を顕彰するに重要と思われる作品
- (イ) 藤井達吉の精神を見出せる作家の作品
- (ウ) 地域の歴史や文化を語るうえで重要と思われる作家の作品
- (エ) 市民の美術文化の向上に資すると思われる作品
- (オ) 上記の作品・作家を理解するうえで役立つ資料

オ 調査研究

美術館活動の充実を図るため、藤井達吉及び藤井と同時代の美術を中心として、国内外の美術に関することや、地域の歴史や文化に関する調査・研究に取り組んでいきます。

(2) 平成29年度活動状況

ア 企画展

(ア) 花森安治の仕事ーデザインする手、編集長の眼

内 容	戦後を代表する生活家庭雑誌『暮らしの手帖』の創刊以来、30年にわたって制作から宣伝まですべてを手がけた編集長・花森安治の全貌を紹介する展覧会。
会 期	平成29年4月18日(火)～5月21日(日)【31日間】
会 場	展示室1・2・3・多目的室
観覧者数	14,268人(460.25/日)
主 催	碧南市藤井達吉現代美術館・碧南市・碧南市教育委員会・読売新聞社・美術館連絡協議会
共 催	NHK プラネット中部
特別協力	暮らしの手帖社
協 賛	ライオン、大日本印刷、損保ジャパン日本興亜
出品点数	669点
印 刷 物	ポスターB2判、チラシA4判両面、チケット7.0×17.0cm、鑑賞ガイドA4判4頁、カタログB5判変型(26.3×18.8cm)
印 刷 物 デザイン	ポスター・チラシ・チケット：重実生哉 カタログ：表紙・重実生哉、美術出版社 川野直樹、中村遼一
担 当	大長悠子
関連事業	① 記念講演会 1 演題：「花森安治と『暮らしの手帖』編集部」 講師：小樽雅章氏(『暮らしの手帖』元編集部員) 日時：平成29年4月22日(土)14:00～15:30 会場：大浜まちかどサロン(美術館向かい) 参加者：103人 ② 記念講演会 2 演題：「花森安治の仕事「直線裁ち」から『一銭五厘の旗』まで」 講師：矢野進氏(世田谷美術館学芸員)

	<p>日時：平成 29 年 5 月 6 日（土）14:00～15:30</p> <p>会場：大浜まちかどサロン（美術館向かい）</p> <p>参加者：83 人</p> <p>③ ワークショップ「ヤスジ手帖をつくる日」</p> <p>内容：展覧会を取材して印象に残ったことを 1 人 1 ページ記事にまとめ、参加者全員の記事をまとめた「ヤスジ手帖」を作った。</p> <p>講師：フジマツ（近藤令子氏と村松淳子氏によるアートプログラムユニット）</p> <p>日時：平成 29 年 5 月 5 日（金・祝）①10:00～12:30②14:00～16:30</p> <p>対象：①小中学生②高校生以上</p> <p>参加者：①16 人 ②16 人</p> <p>④ ギャラリートーク</p> <p>説明者：大長悠子（当館学芸員）</p> <p>第 1 回：平成 29 年 4 月 30 日（日） 60 人</p> <p>第 2 回：平成 29 年 5 月 14 日（日） 54 人</p> <p>第 3 回：平成 29 年 5 月 20 日（土） 62 人</p>
団体鑑賞	平成 29 年 4 月 19 日（水）豊橋カルチャーセンター 20 人
美術館見学	平成 29 年 5 月 2 日（金）中央小学校 2 年全クラス 107 人
メディア 掲載記事	<p>読売新聞朝刊【中部版】「開会式・内覧会」（平成 29 年 4 月 18 日）</p> <p>読売新聞朝刊【中部版】「展覧会開催告知雑報」（平成 29 年 4 月 18 日～5 月 21 日）</p> <p>読売新聞・朝刊【中部版】（平成 29 年 4 月 20 日、21 日、23 日（3 回連載））</p> <p>読売新聞朝刊【中部版】（平成 29 年 4 月 23 日：講演会）</p> <p>読売新聞朝刊【中部版】（平成 29 年 5 月 1 日：学芸員が展示解説）</p> <p>読売新聞朝刊【中部版】（平成 29 年 5 月 6 日：ワークショップ）</p> <p>読売新聞・朝刊【中部版】（平成 29 年 5 月 17 日：1 万人達成）</p> <p>中日新聞朝刊【県内版】「美術」（平成 29 年 5 月 5 日 中村記者）</p>

<p>朝日新聞夕刊【美術館・博物館情報】（平成29年4月18日）</p> <p>朝日新聞夕刊【情報クリップ・展覧会】（平成29年4月29日）</p> <p>朝日新聞夕刊【中部版】「編集の才 時代に翻弄」（平成29年5月9日：小西記者）</p> <p>朝日新聞・週末版be「みちのものがたり」（平成29年5月20日）</p> <p>毎日新聞朝刊【展覧会情報】（平成29年4月22日）</p> <p>毎日新聞朝刊【展覧会情報】（平成29年4月29日）</p> <p>毎日新聞朝刊【展覧会情報】（平成29年5月6日）</p> <p>読売新聞【中部版】社告（平成29年4月11日朝刊）</p> <p>読売新聞【中部版】「広告特集」（平成29年4月17日朝刊）</p> <p>読売新聞【中部版】小枠広告（平成29年4月25日、5月7日朝刊【テレビ欄・カラー】）</p> <p>読売新聞【中部版】記事下広告（平成29年4月26日、5月1日、5日、14日、9日、21日朝刊）</p> <p>NHK総合「ほっとイブニング」（平成29年4月19日）</p> <p>NHK総合「さらさらサラダ」（平成29年4月27日）</p> <p>KATCH（CATV）「キャッチタイム」（初回放送 平成29年4月18日）</p> <p>KATCH（CATV）「キャッチタイム」（初回放送 平成29年5月17日）</p> <p>Pitch FM「まちなまど」（平成29年4月19日）</p> <p>Pitch FM「まちかどリポート」（平成29年4月26日）</p> <p>読売新聞ホームページ「YOL」（平成29年4月18日）</p> <p>月刊なごや4月号</p> <p>フリモかわら4月号、5月号（ハートフルメディア）</p> <p>西三河咲楽NET4月号、5月号（アドキット・インフォケーション）</p> <p>新美術新聞（平成29年2月11日）</p> <p>新美術新聞2017年上半期展覧会カレンダー</p> <p>経済月報4月号（おかしん総研）</p> <p>月刊ギャラリー4月号、5月号（ギャラリーステーション）</p> <p>chao5月号（ネットフレンズ）</p>

	月刊A-NET5月号（愛知芸術文化協会） 月刊ケリー6月号（株式会社ゲイン） 愛知の建築5月号（公益社団法人 愛知建築士会：美術館案内） 名鉄沿線おでかけマガジンWind5月号（名古屋鉄道事業推進部） クイックジャパン vol. 131（太田出版）
--	--

(イ) 日本・デンマーク外交関係樹立150周年記念

スケーエン：デンマークの芸術家村

内 容	バルト海と北海にはさまれたユトランド半島の最北端に位置するスケーエン。この小さな漁村はデンマークの近代芸術に革新を起こす芸術家たちに見出され、19世紀末から20世紀初めにかけて国際的な芸術家村として知られるようになりました。デンマークと日本の外交関係樹立150周年を記念して開催される本展は、芸術家村の画家たちの代表作をスケーエン美術館が所蔵する絵画と素描で紹介しました。
会 期	平成29年6月6日（火）～7月23日（日） 42日間
会 場	展示室1・2
観覧者数	8,626人（1日平均205.4人）
主 催	碧南市藤井達吉現代美術館・碧南市・碧南市教育委員会・スケーエン美術館
共 催	中日新聞社
後 援	デンマーク王国大使館、デンマーク文化庁
企画協力	国立西洋美術館
協 力	ヤマトロジスティクス株式会社
出品点数	59点
印 刷 物	ポスターB2判、チラシA4判両面、チケット7.0×17.0cm、鑑賞ガイドA4判4頁、カタログB5判変型（26.3×18.8cm）
印 刷 物 デザイン	ポスター・チラシ・チケット：ヨゴデザインスタジオ 與語秀樹 カタログ：株式会社アイメックス・ファインアート
担 当	浅野泰子

<p>関連事業</p>	<p>①記念講演会 演題：「スケーエンの風土と絵画」 講師：村上博哉氏（国立西洋美術館副館長兼学芸課長） 日時：平成29年6月24日（土）午後2時～午後3時30分 会場：多目的室 参加者：66人</p> <p>②ワークショップ「港町を描く」 内容：美術館近くの大浜漁港に行き水彩画を描いたほか、展示作品を鑑賞し、その印象を自由に語り合った。 講師：菅沼正則氏（碧南文化協会副会長） 日時：6月11日（日）午前9時30分～午後3時 集合：地下1階創作室 参加者 6人 参加費：500円 対象：中学生以上 持ち物：昼食、レジャーシート、水筒 ギャラリー・トーク（展示説明会、午後2時～） 説明者：浅野泰子（当館主任学芸員）</p> <p>第1回:平成29年6月11日(日) 30人 第2回:平成29年6月17日(土) 18人 第3回:平成29年6月25日(日) 22人 第4回:平成29年7月1日(土) 40人 第5回:平成29年7月9日(日) 31人 第6回:平成29年7月15日(土) 20人 第7回:平成29年7月23日(日) 33人</p>
<p>メディア 掲載記事</p>	<p>中日新聞朝刊【社会面】（平成29年2月10日：東京会場開会式に皇太子殿下夫妻臨席） 中日新聞夕刊【文化面】（平成29年4月3日：スケーエンの画家 ア</p>

	<p>ンナ・アンカー お茶ノ水女子大学 天野知香教授)</p> <p>中日新聞朝刊【おでかけガイド】(平成29年5月29日)</p> <p>中日新聞朝刊【県内版】(平成29年6月6日:開会式・内覧会 片山健生記者)</p> <p>中日新聞朝刊【西三河版】(平成29年6月7日:ワークショップ告知)</p> <p>中日新聞朝刊【西三河版】(平成29年6月10日:企画展にちなんだランチプレート、片山健生記者)</p> <p>中日新聞朝刊【県内版】(平成29年6月13日、14日、15日、16日、17日(5回連載)、川原田喜子記者)</p> <p>中日新聞夕刊【主な美術館・博物館の催し】(平成29年6月15日、22日)</p> <p>中日新聞朝刊【西三河版】(平成29年6月23日:記念講演会情報)</p> <p>中日新聞夕刊【週末ガイド】(平成29年7月6日)</p> <p>朝日新聞夕刊【美術館・博物館情報】(平成29年6月6日、7月4日、7月18日)</p> <p>朝日新聞夕刊【社会面】「+C evening」(平成29年6月23日、千葉恵理子記者)</p> <p>毎日新聞朝刊【美術館・博物館】(平成29年6月10日、17日、24日、7月1日、8日、15日)</p> <p>信濃毎日新聞朝刊【週間ガイド】(平成29年7月13日)</p> <p>中日新聞社告(平成29年5月29日朝刊)</p> <p>中日新聞半2段広告(平成29年5月30日朝刊【社会面】)</p> <p>中日新聞半2段広告(平成29年6月19日朝刊【社会面】)</p> <p>中日新聞半2段広告(平成29年7月10日朝刊【社会面】)</p> <p>KATCH(CATV)「キャッチタイム」(初回放送 平成29年6月6日)</p> <p>KATCH(CATV)「キャッチタイム」(初回放送 平成29年6月16日)</p> <p>Pitch FM「まちなかのまど」(平成29年6月28日)</p> <p>Pitch FM「まちかどリポート」(平成29年6月30日)</p> <p>美術の窓2月号(生活の友社)</p>
--	--

	<p>碧南商工会議所会報 5月号 (裏表紙)</p> <p>安城ホームニュース (平成 29年 5月 13日、6月 10日、7月 8日 中日総合サービス三河支社内安城ホームニュース)</p> <p>フリモかわら 6月号、7月号 (ハートフルメディア)</p> <p>西三河咲楽 6月号、7月号 (アドキットインフォケーション)</p> <p>ナゴヤアートニュース 6月号、7月号 (東海アド・エージェンシー)</p> <p>月刊A-NET 6月号、7月号 (愛知芸術文化協会)</p> <p>岡崎信用金庫経済月報 6月号 (おかしん総研)</p> <p>月刊ギャラリー6月号、7月号 (ギャラリーステーション)</p> <p>芸術新潮 7月号</p> <p>名古屋市美術館ニュース 2017年夏号展評 (中村暁子学芸員)</p> <p>愛知県美術館友の会会報第45号</p> <p>KADOKAWA ウェブサイト「Walkerplus」愛知県</p> <p>ウェブマガジン「ナゴヤNat's」株式会社中日メディアブレーション</p> <p>Aichi Now (愛知県観光協会)</p> <p>西三河ぐるっとナビ (西三河広域観光推進協議会)</p> <p>Dokka!おでかけ探検隊 (Dokka エンタープライズ)</p>
団体鑑賞	<p>6月 18日 (日) 愛知県美術館友の会 26人</p> <p>6月 21日 (水) NHK文化センター豊橋 アート散策 14人</p> <p>7月 8日 (土) 北名古屋市美術館賞同好会 31人</p> <p>7月 9日 (日) 達吉翁調査隊 21人</p> <p>7月 13日 (木) みよし市悠学カレッジ 19人</p> <p>7月 21日 (金) エドモンズ市訪問団 11人</p>

(ウ) リアル (写実) のゆくえ 高橋由一、岸田劉生、そして現代につながるもの

内 容	<p>明治時代から現代に至るまで多くの画家が取り組む写実表現。移入されて 150年を経た写実がどのように変化し、また変化しなかったのか、明治から現代までの作品により「写実のゆくえ」を辿りました。</p>
会 期	<p>平成 29年 8月 8日 (火) ~9月 18日 (月・祝) 37日間</p>

会 場	展示室1・2
観覧者数	19,379人（1日平均523.8人）
主 催	碧南市藤井達吉現代美術館・碧南市・碧南市教育委員会
共 催	中日新聞社、NHKプラネット中部
協 力	名古屋鉄道
出品点数	103点
印 刷 物	ポスターB2判、チラシA4判両面、チケット7.0×17.0cm、 鑑賞ガイドA4判4頁、カタログB5判変型（26.0×18.5cm）
印 刷 物 デザイン	ポスター・チラシ・チケット：株式会社日本ベリエールアートセンタ ー 坂倉実 カタログ：株式会社生活の友社
担 当	土生和彦
関連事業	<p>①ミュージアムコンサート 演者：碓井雅史&清水行人（ジャズ） 日時：平成29年8月19日（土）午後7時～午後8時 会場：喫茶むぎの家 参加者：105人</p> <p>②記念対談1 演題：「リアル（写実）のゆくえ展を熱く語る in 碧南」 対談者：土方明司氏（平塚市美術館館長代理）、江尻潔氏（足利市立 美術館学芸員）、木本文平（当館館長） 日時：平成29年8月26日（土）午後2時～3時30分 会場：大浜まちかどサロン 参加者：86人</p> <p>③ワークショップ「リアルに迫る リアルに描く」 内容：初心者を対象に、空き瓶や貝、果物などのモチーフを参加者が 自分で配置・構図を考え、鉛筆デッサンをした。 講師：杉浦春一氏（洋画家） 日時：9月2日（土）午後1時30分～5時</p>

	<p>会場：地下1階創作室</p> <p>参加者 14人</p> <p>参加費：500円</p> <p>④記念対談2</p> <p>演題：「愛知の写実考」</p> <p>対談者：三頭谷鷹史氏（美術評論家）、木本文平（当館館長）</p> <p>日時：平成29年9月9日（土）午後2時～3時30分</p> <p>会場：大浜まちかどサロン</p> <p>参加者：61人</p> <p>ギャラリー・トーク（展示説明会、午後2時～）</p> <p>説明者：土生和彦（当館主任学芸員）</p> <p>第1回：平成29年8月13日（日） 68人</p> <p>第2回：平成29年8月19日（土） 45人</p> <p>第3回：平成29年8月27日（日） 82人</p> <p>第4回：平成29年9月2日（土） 75人</p> <p>第5回：平成29年9月10日（日） 73人</p> <p>第6回：平成29年9月16日（土） 52人</p>
メディア掲載記事	<p>中日新聞朝刊【西三河版】（平成29年8月19日：「むぎの家」ランチ）</p> <p>中日新聞朝刊【西三河版】（平成29年8月31日：通算60万人達成）</p> <p>中日新聞朝刊【西三河版】（平成29年9月8日：リアル展1万人達成）</p> <p>中日新聞朝刊【県内版】（平成29年8月16日、17日、18日（3回連載）：展覧会作品紹介）</p> <p>朝日新聞夕刊【美術館・博物館情報】（平成29年8月8日以降火曜日随時掲載）</p> <p>毎日新聞朝刊【美術館・博物館】（平成29年8月19日以降土曜日随時掲載）</p> <p>日本経済新聞夕刊【中部特集】（平成29年9月6日：展評 千葉真智子学芸員（豊田市美術館））</p> <p>信濃毎日新聞朝刊【週間ガイド】（平成29年8月31日）</p>

	<p>中日新聞社告（平成 29 年 7 月 31 日朝刊）</p> <p>中日新聞半 5 段広告（平成 29 年 8 月 6 日朝刊【BS ラジオ面】）</p> <p>中日新聞半 2 段広告（平成 29 年 8 月 22 日朝刊【社会面】）</p> <p>中日新聞半 2 段広告（平成 29 年 9 月 7 日朝刊【社会面】）</p> <p>NHK Eテレ 日曜美術館「見つめる眼 震える心 由一 劉生 ニッポン写実画のゆくえ」（アンコール放送 平成29年8月20日、27日）</p> <p>NHK総合「さらさらサラダ」（平成29年8月23日）</p> <p>中京テレビ放送「ZIP！」情報コーナー（平成29年9月13日）</p> <p>KATCH (CATV)「キャッチタイム」（初回放送 平成29年8月10日）</p> <p>Pitch FM「まちのまど」（平成29年8月9日）</p> <p>Pitch FM「まちかどりポート」（平成29年9月1日）</p> <p>碧南商工会議所会報7月号</p> <p>月刊A-NET8月号、9月号（愛知芸術文化協会）</p> <p>西三河咲楽NET8月号、9月号（アドキット・インフォケーション）</p> <p>フリモかわら8月号、9月号（ハートフルメディア）</p> <p>安城ホームニュース9月9日号（中日総合サービス三河支社）</p> <p>美術の窓8月号（生活の友社）</p> <p>月刊美術9月号（実業之日本社）</p>
美術館学習	市内7小学校 5年生児童 747人
団体鑑賞	愛知教育大学講義の一環 42人

(エ) 長野県信濃美術館名品展 響きあう個性—近代を彩った作家たち

内 容	<p>1966年に開館した長野県信濃美術館は、約4,000点の優れたコレクションで知られています。本展は長野県信濃美術館の全面的なご協力を得て、選りすぐりの76件により、明治から昭和にかけての日本近代美術のあゆみを紹介しました。</p>
会 期	平成29年10月11日（水）～11月26日（日） 41日間
会 場	展示室1・2・3
観覧者数	6,726人（1日平均164.0人）

主 催	碧南市藤井達吉現代美術館、碧南市、碧南市教育委員会、 美術館連絡協議会、読売新聞社
共 催	中京テレビ放送
特別協力	長野県信濃美術館
協 力	名古屋鉄道
協 賛	ライオン、大日本印刷、損保ジャパン日本興亜
出品点数	76件
印 刷 物	ポスターB2判、チラシA4判両面、チケット7.0×17.0cm、 鑑賞ガイドA4判4頁、カタログB5判変型（26.3×18.8cm）
印 刷 物 デザイン	ポスター・チラシ・チケット：株式会社アーティカル 小島邦康 カタログ：株式会社エムアイシーグループ
担 当	浅野泰子
関連事業	<p>①記念講演会 演題：「信州の風土と美術」 講師：瀬尾典昭氏（長野県信濃美術館研究主幹） 日時：平成29年10月28日（土）午後2時～午後3時30分 会場：多目的室 参加者：31人</p> <p>②ギャラリーツアー「あかちゃんといっしょ」 内容：あかちゃんと保護者の興味に沿って展覧会・作品を紹介し、簡単な対話型鑑賞を行った。 日時：第1回 平成29年10月25日（水） 第2回 平成29年11月16日（木） 午前10時30分～11時 集合：地下1階創作室 参加者 第1回 6人（3組）、第2回 6人（3組） 参加費：無料 ギャラリー・トーク（展示説明会、午後2時～） 説明者：浅野泰子（当館主任学芸員）</p>

	<p>第1回:平成29年10月14日(土) 22人</p> <p>第2回:平成29年10月22日(日) 9人</p> <p>第3回:平成29年11月5日(日) 13人</p> <p>第4回:平成29年11月11日(土) 21人</p> <p>第5回:平成29年11月19日(日) 12人</p> <p>第6回:平成29年11月25日(土) 30人</p>
メディア掲載記事	<p>新美術新聞(平成29年9月1日)</p> <p>朝日新聞夕刊【美術館・博物館情報】(平成29年10月10日、11月14日)</p> <p>読売新聞朝刊【中部版】(平成29年10月11日:開会式・内覧会)</p> <p>読売新聞朝刊【中部版】(平成29年10月29日:記念講演会)</p> <p>碧南商工会議所会報10月号</p> <p>読売新聞朝刊【中部版】(平成29年11月7日、8日、9日(3回連載):展覧会作品紹介)</p> <p>読売新聞朝刊【中部版】(平成29年11月8日:企画展ランチ)</p> <p>読売新聞朝刊【中部版】(平成29年11月23日:信州の特産品販売)</p> <p>信濃毎日新聞【信州ワイド】(平成29年10月11日 開会式・内覧会)</p> <p>毎日新聞朝刊【美術館・博物館】(平成29年10月14日、28日、11月18日)</p> <p>読売新聞【中部版】開催社告(平成29年10月4日朝刊)</p> <p>読売新聞【中部版】開催告知雑報(平成29年10月11日~11月26日朝刊)</p> <p>読売新聞【中部版】全10段広告特集 *下部の全5段カラー広告と合わせて1ページ全体(平成29年10月9日朝刊)</p> <p>読売新聞【中部版】テレビ欄小枠カラー広告(平成29年10月20日、11月5日朝刊)</p> <p>読売新聞【中部版】記事下広告(全5段モノクロ)(平成29年10月15日、22日、11月4日、12日、19日、24日、25日朝刊)</p> <p>中京テレビ放送「ZIP!」(平成29年10月11日)</p>

	<p>KATCH (CATV)「キャッチタイム」(初回放送 平成 29 年 11 月 9 日)</p> <p>Pitch FM「まちなま」(平成 29 年 10 月 18 日)</p> <p>Pitch FM「まちなまレポート」(平成 29 年 11 月 17 日)</p> <p>中京テレビ放送「笹島まちなま」イベントブースにて展覧会チラシ等を配布(平成 29 年 10 月 7 日、8 日)</p> <p>ナゴヤアートニュース 10 月号、11 月号(東海アド・エージェンシー)</p> <p>月刊ギャラリー9 月号、10 月号、11 月号(ギャラリーステーション)</p> <p>西三河咲楽 10 月号、11 月号(アドキットインフォケーション)</p> <p>フリモかわら 10 月号、11 月号(ハートフルメディア)</p> <p>安城ホームニュース 10 月 14 日発行号、11 月 11 日発行号</p> <p>東海日日新聞コミュニティペーパー「プラネット」10 月 26 日号(プラネット)</p> <p>月刊 A-NET 11 月号(愛知芸術文化協会)</p> <p>西三河ぐるっとナビ(西三河広域観光推進協議会)</p> <p>Aichi Now(愛知県観光協会)</p> <p>YOMIURI ONLINE 中部発</p>
美術館学習	市内 5 中学校 1 年生 766 人
団体鑑賞	愛知教育大学「博物館教育論」受講生 25 人

(オ) 所蔵作品展—新収蔵作品を中心に—

内 容	藤井達吉の六曲一双屏風《旭日瑞雲・不盡(富士)迎陽》や、十二枚揃いの一括収蔵という貴重な機会を得た山村耕花の《梨園の華》の他、新たに当館の所蔵となった近現代の絵画・彫刻・版画など多彩な作品を紹介しました。
会 期	平成 29 年 12 月 22 日(金)～平成 30 年 1 月 14 日(日) 18 日間
会 場	展示室1・2
観覧者数	891 人
主 催	碧南市藤井達吉現代美術館、碧南市、碧南市教育委員会
出品点数	70 点

印刷物	ポスターB2判、チラシA4判両面
印刷物 デザイン	ポスター：中山里恵（当館学芸員）
担 当	土生和彦
関連事業	ギャラリー・トーク（展示説明会、午後2時～） 説明者：土生和彦（当館主任学芸員） 第1回：平成29年12月23日（土・祝） 3人 第2回：平成30年1月7日（日） 15人 第3回：平成30年1月13日（土） 8人
メディア 掲載記事	毎日新聞朝刊【美術館・博物館】（平成29年12月23日以降土曜日 随時掲載） 朝日新聞夕刊【美術館・博物館情報】（平成29年12月19日以降火曜 日随時掲載） 信濃毎日新聞朝刊【週間ガイド】（平成29年12月28日） KATCH（CATV）「キャッチタイム」（初回放送 平成30年1月4日） Pitch FM「まちかどリポート」（平成30年1月5日） 安城ホームニュース11月11日号（中日総合サービス三河支社） 西三河咲楽NET12月号（アドキット・インフォケーション） フリモかわら12月号（ハートフルメディア）

(カ) 應仁寺と三河の蓮如上人展

（文化財課予算対応）

内 容	本願寺中興の祖といわれる蓮如上人が三河に来訪して真宗の教えを ひろめてから550年を迎えます。このことを記念し、應仁寺など各地 伝来の文化財や法宝物をご紹介します。
会 期	平成30年1月23日（火）～3月4日（日） 36日間
会 場	展示室1・2
観覧者数	5,132人
主 催	碧南市藤井達吉現代美術館・碧南市・碧南市教育委員会

協 力	真宗大谷派岡崎教区、浄土真宗本願寺派東海教区、碧南市文化財保護審議会
出品点数	58 点
印 刷 物	ポスターB2 判、チラシ A4 判両面、チケット 7.0×17.0cm、 カタログ B5 判変型 (25.3×19.0cm)、鑑賞ガイド A4 判 4 頁、 出品目録 A4 判両面
印 刷 物 デザイン	ポスター・チラシ・チケット：作石敏達 カタログ：株式会社エムアイシーグループ
担 当	豆田誠路
関連事業	<p>①講演会 1 演題：「蓮如上人の生涯」 講師：安藤弥氏（同朋大学文学部教授） 日時：平成 30 年 2 月 4 日（日）午後 2 時～3 時 30 分 会場：多目的室 参加者：120 人</p> <p>②講演会 2 演題：「蓮如上人と三河の門徒」 講師：青木馨氏（碧南市文化財保護審議会副会長、同朋大学仏教文化研究所客員所員） 日時：平成 30 年 2 月 18 日（日）午後 2 時～3 時 30 分 会場：多目的室 参加者：101 人</p> <p>③絵解き「蓮如上人絵伝」 出演：椰野明仁氏（三河すーぱー絵解き座座長） 日時：平成 30 年 2 月 12 日（月・祝）午後 2 時～3 時 30 分 会場：多目的室 参加者：97 人 ギャラリー・トーク（展示説明会、午後 2 時～） 説明者：豆田誠路（当市文化財課主査(学芸員)）</p>

	<p>第1回:平成30年1月27日(土) 45人</p> <p>第2回:平成30年2月3日(土) 40人</p> <p>第3回:平成30年2月10日(土) 32人</p> <p>第4回:平成30年2月17日(土) 22人</p> <p>第5回:平成30年2月24日(土) 57人</p> <p>第6回:平成30年3月4日(日) 49人</p>
メディア 掲載記事	<p>毎日新聞朝刊【美術館・博物館】(平成30年1月20日以降土曜日随 時掲載)</p> <p>朝日新聞夕刊【美術館・博物館情報】(平成30年1月23日以降火曜日随 時掲載)</p> <p>信濃毎日新聞朝刊【週間ガイド】(平成30年1月25日)</p> <p>中日新聞朝刊【三河版】(平成30年2月13日:蓮如の生涯 絵伝で)</p> <p>NHKラジオ名古屋「天気予報・お知らせ」内随時数回</p> <p>KATCH (CATV)「キャッチタイム」(初回放送 平成30年1月24日)</p> <p>Pitch FM「まちのまど」(平成30年2月7日)</p> <p>Pitch FM「まちかどりレポート」(平成30年2月16日)</p> <p>安城ホームニュース【美術館・博物館ダイアリー】(平成30年2月10日)</p> <p>アートニュース No. 159 (東海アドエージェンシー)</p> <p>月刊ギャラリー12月号、1月号、2月号、3月号 (ギャラリーステーシ ョン)</p> <p>月刊A-NET12月号、2月号、3月号 (愛知芸術文化協会)</p> <p>フリモかわら1月号、2月号、3月号 (ハートフルメディア)</p> <p>ぶらりん西尾1月号 (ネット・フレンズ)</p> <p>ぶらりん蒲郡・幸田2月号 (ネット・フレンズ)</p> <p>西三河咲楽1月号、2月号 (アドキット・インフォケーション)</p> <p>本願寺新報【法座と催し】(平成30年1月10日)</p> <p>愛知の建築No. 686 (愛知建築士会)</p> <p>Aichi Now (愛知県観光協会)</p> <p>西三河ぐるっとナビ (西三河広域観光推進協議会)</p>

美術館学習	西端小学校4年生 73人、6年生 37人
団体鑑賞	愛知教育大学「博物館教育論」受講生 39人

イ 常設展 「藤井達吉 人と作品展 29」

第Ⅰ期	会 期：平成29年4月4日（火）～5月28日（日） 49日間 会 場：展示室4 展 示 数：15点 観覧者数：5,942人（無料）（1日平均121.3人）
第Ⅱ期	会 期：平成29年5月30日（火）～7月17日（月・祝）43日間 会 場：展示室3 展 示 数：15点 観覧者数：3,889人（無料）（1日平均90.4人）
第Ⅲ期	会 期：平成29年7月20日（木）～8月27日（日） 34日間 会 場：展示室3 展 示 数：16点 観覧者数：4,206人（無料）（1日平均123.7人）
第Ⅳ期	会 期：平成29年8月30日（水）～10月1日（日） 29日間 会 場：展示室3 展 示 数：12点 観覧者数：7,966人（無料）（1日平均274.7人）
第Ⅴ期	会 期：平成29年10月3日（火）～11月5日（日） 30日間 会 場：展示室4 展 示 数：14点 観覧者数：2,456人（無料）（1日平均81.9人）
第Ⅵ期	会 期：平成29年11月8日（水）～12月10日（日） 29日間 会 場：展示室4 展 示 数：15点 観覧者数：2,421人（無料）（1日平均83.5人）

第Ⅶ期	会 期：平成29年12月12日（火）～平成30年1月28日（日） 39日間 会 場：展示室3 展 示 数：13点 観覧者数：1,608人（無料）（1日平均41.2人）
第Ⅷ期	会 期：平成30年1月31日（水）～3月18日（日） 41日間 会 場：展示室3 展 示 数：12点 観覧者数：2,420人（平成30年2月28日現在）

ウ 常設展 「碧南の歴史と文化」（会場：地下1階情報コーナー展示ケース）

第Ⅰ期	会 期：平成29年4月8日（土）～7月9日（日） 内 容：碧南のできごと2「衣浦港の歴史」
第Ⅱ期	会 期：平成29年7月15日（土）～10月22日（日） 内 容：碧南の民具2「三河のやきもの」
第Ⅲ期	会 期：平成29年10月28日（土）～平成30年1月28日（日） 内 容：碧南のできごと3「碧南の小学校の昔」
第Ⅳ期	会 期：平成30年2月3日（土）～5月6日（日） 内 容：碧南の文化財10「土人形（オボコ）作り Part2」

エ 共催展等

(ア) ワークショップ作品展

会 期	平成29年8月8日（火）～9月3日（日） 24日間
会 場	展示室4
観覧者数	581人（無料）（1日平均24.2人）

(イ) 第10回碧南文化協会選抜美術展

会 期	平成29年9月23日（土・祝）～10月1日（日） 8日間
会 場	展示室1・2
観覧者数	1,129人（無料）（1日平均141.1人）

(ウ) HEKINANから それぞれのスピリッツ展IX

会 期	平成 29 年 12 月 5 日 (火) ～12 月 17 日 (日) 12 日間
会 場	展示室 1・2
観覧者数	532 人 (無料) (1 日平均 44.3 人)

(エ) 第 30 回碧南市野外彫刻コンテスト入賞作品展

会 期	平成 29 年 12 月 16 日 (土) ～平成 30 年 1 月 28 日 (日) 36 日間
会 場	展示室 4
観覧者数	1,048 人 (無料) (1 日平均 29.1 人)

(オ) 市史資料収蔵品展「昔のキオクー住まい編一」

会 期	平成 30 年 2 月 6 日 (火) ～3 月 11 日 (日) 30 日間
会 場	展示室 4
観覧者数	812 人 (無料) (1 日平均 27.1 人)

(カ) 第 4 回碧南ビエンナーレ

会 期	平成 30 年 3 月 13 日 (火) ～3 月 25 日 (日) 12 日間
会 場	展示室 1・2
観覧者数	

オ 教育普及

(ア) 子どもワークショップシリーズ (対象：小学生、会場：創作室)

※平成 30 年 2 月 28 日現在

1	平成 29 年 4 月 15 日 (土)	いろいろクレヨン (10 人参加)
2	平成 29 年 4 月 16 日 (日)	いろいろクレヨン (22 人参加)
3	平成 29 年 5 月 13 日 (土)	ぬりぺた (11 人参加)
4	平成 29 年 5 月 14 日 (日)	ぬりぺた (17 人参加)
5	平成 29 年 6 月 17 日 (土)	〇〇で描く (12 人参加)
6	平成 29 年 6 月 18 日 (日)	〇〇で描く (20 人参加)
7	平成 29 年 7 月 15 日 (土)	みてみりん⇄やってみりん (5 人参加)
8	平成 29 年 7 月 16 日 (日)	みてみりん⇄やってみりん (18 人参加)
9	平成 29 年 9 月 16 日 (土)	もようを作る (11 人参加)

10	平成 29 年 9 月 17 日 (日)	もようを作る (15 人参加)
11	平成 29 年 10 月 28 日 (土)	積みキューブ (12 人参加)
12	平成 29 年 10 月 29 日 (日)	積みキューブ (22 人参加)
13	平成 29 年 11 月 18 日 (土)	季節の野菜や果物を描こう (11 人参加)
14	平成 29 年 11 月 19 日 (日)	季節の野菜や果物を描こう (25 人参加)
15	平成 29 年 12 月 16 日 (土)	はりがねワーク (13 人参加)
16	平成 29 年 12 月 17 日 (日)	はりがねワーク (15 人参加)
17	平成 30 年 1 月 21 日 (日)	親子バスツアー (19 人参加)
18	平成 30 年 2 月 17 日 (土)	まっしろレリーフ (10 人参加)
19	平成 30 年 2 月 18 日 (日)	まっしろレリーフ (14 人参加)
20	平成 30 年 3 月 17 日 (土)	重ねる版画
21	平成 30 年 3 月 18 日 (日)	重ねる版画

(イ) 夏休みワークショップ (対象：小学生、会場：創作室)

1	平成 29 年 8 月 2 日 (水)	親子でまきまき造形遊び (対象：3～6 歳の幼児とその保護者) (13 人参加)
2	平成 29 年 7 月 26 日 (水)	木の小箱に描く (3 年生以上) (12 人参加)
3	平成 29 年 8 月 1 日 (火)	枝とひものまきまき造形 (11 人参加)
4	平成 29 年 8 月 12 日 (土)、13 日 (日)	おさかなモビール (延べ 23 人参加)

(ウ) びあじ (美術館あそび実験室)

(対象：3 歳以上の子どもと大人、会場：創作室、館内)

1	平成 29 年 4 月 23 日 (日)	伝える・伝わる?! (49 人参加)
2	平成 29 年 5 月 28 日 (日)	伝える・伝わる?! (63 人参加)
3	平成 29 年 6 月 25 日 (日)	伝える・伝わる?! (45 人参加)
4	平成 29 年 7 月 30 日 (日)	ネイチャー・ワンダーランド (36 人参加)
5	平成 29 年 8 月 27 日 (日)	ネイチャー・ワンダーランド (27 人参加)
6	平成 29 年 9 月 24 日 (日)	ネイチャー・ワンダーランド (24 人参加)
7	平成 29 年 10 月 22 日 (日)	はかる?!～これくらいってどれくらい～ (15 人参加)
8	平成 29 年 11 月 26 日 (日)	はかる?!～これくらいってどれくらい～ (18 人参加)
9	平成 29 年 12 月 24 日 (日)	はかる?!～これくらいってどれくらい～ (44 人参加)

10	平成 30 年 1 月 28 日（日）	みみをすます～きく・みる・かんじる～（20 人参加）
11	平成 30 年 2 月 25 日（日）	みみをすます～きく・みる・かんじる～（22 人参加）
12	平成 30 年 3 月 25 日（日）	みみをすます～きく・みる・かんじる～

(エ) 出前講座（創作）

実 施 日	平成 29 年 6 月 2 日（金）～平成 29 年 12 月 7 日（木） 延べ 29 日
対 象	棚尾小学校 3 年生全クラス（111 人）・4 年生全クラス（91 人）、5 年生全クラス（112 人）6 年生全クラス（89 人）、新川小学校 2 年生全クラス（134 人）・4 年生全クラス（124 人）・6 年生全クラス（141 人）、日進小学校 2 年生全クラス（50 人）・4 年生全クラス（64 人）・5 年生全クラス（51 人）・特別支援学級（5 人）、大浜小学校 2 年生全クラス（111 人）・特別支援学級（13 人）、鷺塚小学校 1 年生全クラス（88 人）・3 年生全クラス（93 人）・5 年生全クラス（132 人）、西端小学校 5 年生全クラス（82 人）・6 年生全クラス（72 人）、中央小学校特別支援学級（12 人）、大浜幼稚園年少・年中・年長親子（152 人） 延べ 1,727 人
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・棚尾小学校 3～6 年生 堀川の壁画のためのデザインの指導。扇面型に折り紙で丸や三角を配置し構成した。 ・新川小学校 2 年生 ぼく・わたしのひみつのどうぶつ・・・針金で芯を作り、絵の具で色をつけた軽量粘土を貼り付けて動物を作る指導。 ・新川小学校 6 年生 名前の道・・・自分の名前を道のようにつなげてデザインし、黒のアクリル絵の具で彩色後、余白部分をグラデーションで彩色するための技法紹介と指導。 ・日進小学校 5 年 不思議な生き物・・・粘土で筒状の形を作り、想像の生き物を造形する指導。

- ・大浜小学校特別支援学級
 ふしぎないきもの・・・針金で芯を作り、絵の具で色をつけた軽量粘土を貼り付けて動物を作る指導。
- ・鷺塚小学校1年生
 ふしぎなはな・・・花びらとなる素材作り。画用紙にクレヨンで模様を描き、上から絵の具で彩色する技法の指導。
- ・日進小学校4年生
 おもしろ仮面・・・ダンボールの素材を活かしながら世界に一つだけの不思議な仮面を作るための技法紹介とその指導。
- ・新川小学校4年生
 今の自分 未来の自分・・・木版画の版木に、自分の顔の下図を描くための指導。
- ・大浜小学校2年生
 絵の具の技法3種類（バチック、ドリッピング、スパッタリング）の紹介と指導。
- ・鷺塚小学校3年生
 みんなのひまわり畑・・・本物のひまわりとカラーコピーを見ながら画用紙にクレヨンで観察しながら描く指導。
- ・西端小学校6年
 墨のうた・・・墨の濃淡と道具を使い分けながら障子紙に表現するための指導。
- ・日進小学校2年
 ゆめのおさかな・・・魚型に切った色画用紙の上に絵の具を混ぜた軽量粘土を貼り、想像の魚を作るための造形指導。
- ・西端小学校5年
 でこぼこ広場に絵具がはしる・・・各自持参した廃材をダンボールの台紙に貼り、上から液体粘土で覆う技法指導。
- ・鷺塚小学校5年生
 抽象表現・・・ドリッピング、にじみぼかし、かさかさ、ペインティ

	<p>ングナイフの4技法の紹介・練習と各技法を織り交ぜた表現の指導。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日進小学校特別支援学級 モデリングペーストを混ぜたアクリル絵の具とペインティングナイフを使って、布張りの板に自由に描いた。 ・中央小学校特別支援学級 つまようじアート・・・図案を描いたスチレンボードに様々な色のつまようじをさし、立体的な作品に仕上げた。 ・大浜幼稚園年少親子 ダンボールに飾りつけたクリスマスリースの制作指導。 ・大浜幼稚園年中親子 ミニタイルと軽量粘土でつくる額絵の制作指導。 ・大浜幼稚園年長親子 ガラス絵の作り方指導。
--	--

(オ) 出前講座（鑑賞）

実施日	平成29年11月22日（水）～平成30年2月16日（金） 延べ11日
対象	日進小学校1年生全クラス（55人）・2年生全クラス（51人）・4年生全クラス（63人）・5年生全クラス（53人）・特別支援学級（6人）、新川小学校1年生全クラス（100人）・3年生全クラス（148人）・5年生全クラス（146人）、中央小学校1年生全クラス（85人）・2年生全クラス（91人）・3年生全クラス（118人） 延べ916人
内容	たっちカード（鑑賞用補助教材）を使った鑑賞授業を行いました。

(カ) 実習生受入れ

実施日	平成29年8月1日（火）～8月5日（土） 5日間
実習生	愛知淑徳大学ビジネス学部ビジネス学科4年生ほか6名
内容	博物館法に則った学芸員としての専門的実務実習を行いました。

(キ) 美術館見学

実施日	平成29年5月2日（金）
-----	--------------

対 象	中央小学校 2 年全クラス (107 人)
内 容	クラスごとに花森安治の仕事展鑑賞、施設案内と常設展鑑賞、ミニワークショップを行いました。
実 施 日	平成 29 年 10 月 18 日 (水)
対 象	大浜小学校 2 年 (17 人)
内 容	児童に美術館の仕事や施設の案内を行い、2 年生生活科「町たんけん」の授業に協力した。

(ク) その他

実 施 日	4 月 13 日 (木)
対 象	碧南市教育委員会
審 査 員	浅野泰子 (当館主任学芸員)
内 容	碧南海浜水族館写生大会の審査
実 施 日	11 月 15 日 (水)
対 象	豊田市教育委員会
審 査 員	土生和彦 (当館主任学芸員)
内 容	豊田市民美術展の審査 (彫刻・インスタレーション)
実 施 日	平成 30 年 2 月 26 日 (月)
対 象	葵美術グループ
審 査 員	浅野泰子 (当館主任学芸員)
内 容	講義「マックス・ベックマンの絵画について」
実 施 日	平成 29 年度後期
場 所	愛知教育大学
講 師	浅野泰子 (当館主任学芸員)、土生和彦 (当館主任学芸員)、豆田誠路 (当市文化財課学芸員)
内 容	博物館教育論講義 (15 講義)

カ 保存・修復

(ア) 美術館生物生息調査

調査期間	平成 29 年度 通年
調査場所	美術館全館
調査内容	粘着式トラップによる歩行性虫生息調査
調査結果	展示室及び収蔵庫での生息や発生は現在確認されていません。今後も清潔な環境維持に努めます。

(イ) 空気環境モニタリング調査

調査期間	平成 29 年 9 月 12 日～20 日 平成 29 年 12 月 1 日～9 日 平成 29 年 12 月 28 日～平成 30 年 1 月 2 日
調査場所	収蔵庫前室、収蔵庫 1・2、展示室 1・2・3・4、展示室 2 内エアタイト展示ケース、多目的室一時保管庫
調査内容	有機酸・アンモニア検知用パッシブインジケータによる調査
調査結果	各所ともインジケータの変色はほとんど見られず、良好であると考えられます。今後も清浄な環境維持に努めます。

(ウ) 収蔵庫環境調査

調査期間	平成 30 年 2 月 20 日 (火)
調査場所	収蔵庫前室・1・2
調査内容	粘着式トラップ及びフェロモントラップによる害虫生息調査、浮遊真菌測定、床・壁面の付着真菌測定、浮遊粉塵数測定を行いました。

(エ) 作品保存箱・汎用額作成

実施期間	平成 29 年 11 月
対 象	箱の付属しない陶磁器作品を中心とした計 44 作品
内 容	現状で箱等の付属していない作品の保存のために桐及び中性紙による保存箱を作成しました。

実施期間	平成 30 年 3 月実施
内 容	貴重かつ繊細な作品の展示及び保存のため汎用額を作成しました。

(オ) 作品等保存修復処置

対 象	星野眞吾作品 4 点、高畑郁子作品 5 点
内 容	新収蔵作品のうちカビの発生が確認された作品に対して、乾式洗浄によるカビの除去を行いました（当館保存担当職員による）。さらにカビの発生箇所が多いものは燻蒸処理を行いました（カ）の項を参照）。

対 象	藤井達吉作品及び藤井篠作品（寄託作品）
内 容	新規の寄託受入作品にカビの痕跡が確認されたため、乾式洗浄及びエタノール 70%溶液による処置を行いました（当館保存担当職員による）。

対 象	藤井達吉《旭日瑞雲・不盡（富士）迎陽》 和田三造《花鳥図屏風》（ともに屏風作品）
内 容	経年によって蝶番部分にめくれが生じ、展示の安全性に支障が生じかねない状態となっていたため、めくれ部分の糊付け作業を行いました（当館保存担当職員による）。

対 象	謄写版（文化財課所有）
内 容	「常設展Ⅱ－碧南の歴史と文化－」の展示予定資料にカビの痕跡が確認されたため、展示前に乾式洗浄及びエタノール 70%溶液による処置を行いました（当館保存担当職員による）。

対 象	萬鉄五郎《冬の海》（軸装作品）
内 容	鑑賞の妨げとなっていた画面内の折れを修復し（委託）、修復後の作品は「所蔵作品展（平成 29 年 12 月 22 日～平成 30 年 1 月 14 日）」にて公開しました。

(カ) 収蔵作品燻蒸処理

実施期間	平成 29 年 10 月 23 日～27 日
対 象	平成 29 年度収蔵の星野眞吾、高畑郁子作品等

経緯	寄贈された作品にカビの発生がみられたために実施。
内容	くん蒸作業専用車を手配し、エキヒュームS（酸化エチレン製剤／空間濃度1%・48時間処置）による燻蒸を行いました（委託）。

キ 調査研究

企画展図録等刊行・執筆

『花森安治の仕事—デザインする手、編集長の眼』

大長悠子「花森安治の人物交流・山名文夫」（コラム）

『日本・デンマーク外交関係樹立 150 周年記念 スケーエン：デンマークの芸術家村』

浅野泰子「マリーと P. S. クロヤー —芸術家夫妻」翻訳

（メテ・ボォ・イェンセン・スケーエン美術館学芸員による論文）

『リアル（写実）のゆくえ』

木本文平「由一、劉生、そして笈忠治にみる写実表現」

土生和彦「草土社と愛美社—『草土社風』伝播の一例—」

「作家・作品解説（分担）」

『長野県信濃美術館名品展 響きあう個性—近代を彩った作家たち』

木本文平「碧南と長野 —藤井達吉との^{えにし}縁—」

浅野泰子「章解説」「作家解説」「作品解説」「主要参考文献」

『歴史系企画展 應仁寺と三河の蓮如上人展』

編集 豆田誠路 執筆 豆田誠路、土生和彦他

『長谷川利行展』（当館開催は次年度）

土生和彦「利行と浅草の芸能、芸人」「伊豆大島と利行」（コラム）

「参考文献目録」「作品解説（分担）」

『リア』41号

浅野泰子「片目／野村和弘展」（レビュー）

土生和彦「ニッポンの写実 そっくりの魔力」（レビュー）

『家康と播磨の藩主』（神戸新聞総合出版センター、平成29年刊）

豆田誠路「永井直勝の一族と赤穂藩主・永井直敬」（講演・執筆）

ク 所蔵作品貸出

貸出作品	野田弘志 《パンジー其の三》
貸出目的	「リアル（写実）のゆくえ」出品のため
貸出先	平塚市美術館（平成29年4月15日～6月11日） 足利市立美術館（平成29年6月17日～7月30日） 碧南市藤井達吉現代美術館（平成29年8月8日～9月18日） 姫路市立美術館（平成29年9月23日～11月5日）
貸出期間	平成29年4月6日～11月8日

貸出作品	岸田劉生 《少女飾髪之図》
貸出目的	「椿 貞雄 歿後60年記念 師・劉生、そして家族とともに」 出品のため
貸出先	千葉市美術館（平成29年6月7日～7月30日）
貸出期間	平成29年5月24日～8月3日

貸出作品	真島直子 《密林の女神Ⅱ》
貸出目的	「真島直子 地ごく楽」出品のため
貸出先	名古屋市美術館（平成30年3月1日～4月15日） 足利市立美術館（平成30年4月24日～7月1日）
貸出期間	平成30年2月24日～7月中旬

※現時点での実績（平成30年2月28日現在）

観覧者数計：92,169人（企画展：54,076人、常設展：30,908人、共催展等：7,185人）

教育普及参加人数計：1,821人

(3) 平成30年度活動計画

ア 企画展

(ア) 碧南市制70周年記念事業 開館10周年記念

所蔵秀作展・10年の歩み

会 期	平成30年4月10日(火)～6月3日(日) 49日間
概 要	2008年4月5日の開館から10年、当館は沢山の方々に支えられて活動を続けてきました。そのような有形無形の支えを代表するのがコレクション充実への理解といえるでしょう。収集方針に基づいた寄贈や購入作品各々が、コレクション形成に大きく寄与しています。本展では開館以後に収集された諸作品のうち主なものを紹介します。

(イ) 碧南市制70周年記念事業 開館10周年記念

長谷川利行展 ー芸術に生き、雑踏に死すー

会 期	平成30年7月21日(土)～9月9日(日) 44日間
共 催	中日新聞社、NHKプラネット中部
概 要	自由奔放な筆致と原色そのままの色づかいによる作品の魅力に加え、その破天荒な生き方でも知られる画家・長谷川利行は、長く所在不明となっていた油彩の大作が相次いで発見されるなど、近年あらためて注目を集めています。約18年ぶりの大規模な回顧展となる本展では、油彩、水彩、ガラス絵、素描など代表作約140点により、その画業の全貌を紹介します。

(ウ) 碧南市制70周年記念事業 開館10周年記念

歴史系企画展 へきなんの文化財ー未来へと守り伝えるものー

(文化財課予算対応)

会 期	平成30年9月19日(水)～10月21日(日) 29日間
概 要	碧南市文化財保護条例制定50周年を記念し、碧南市内にある指定文化財を中心に、碧南に関連した文化財や史料を紹介します。

(エ) ^{老いてますます盛ん} 愉しきかな！人生—老当益壯の画人たち—

会 期	平成 30 年 10 月 30 日（火）～12 月 16 日（日） 42 日間
共 催	中日新聞社・CBCテレビ
概 要	著名な画家には長寿の方が多く、90 歳を過ぎても旺盛な制作活動を行った作家は少なくありません。本展では、明治期以降、現代までに活躍した日本画家、洋画家あわせて 14 人の超・ご長寿の画家に焦点を当て、作家の個性が最初に表出した時期の作品や代表作に、90 歳を過ぎてからの意欲的な作品をあわせ、その画業を紹介します。

(オ) 生誕 130 年 佐藤玄々(朝山) 展

会 期	平成 31 年 1 月 12 日（土）～平成 31 年 2 月 24 日（日） 38 日間
概 要	再興院展を中心に活躍し、皇居・平川門近くに立つ《和気清麻呂像》や日本橋三越本店・本館 1 階中央ホールの《天女像》等のモニュメンタルな大作のほか、身の回りの蔬菜、小動物などを精緻にあらわした木彫作品でも知られる彫刻家・佐藤玄々（朝山）。生誕 130 年を記念して開催する本展では、木彫、ブロンズ、石膏原型、墨画など、多彩な作品や資料を紹介します。

イ 常設展 「藤井達吉 人と作品展 30」

名 称	会 期
第 I 期	平成 30 年 6 月 6 日（水）～7 月 13 日（日） 33 日間
第 II 期	平成 30 年 7 月 14 日（土）～9 月 9 日（日） 50 日間
第 III 期	平成 30 年 9 月 19 日（水）～10 月 21 日（日） 29 日間
第 IV 期	平成 30 年 10 月 30 日（火）～12 月 2 日（日） 30 日間
第 V 期	平成 30 年 12 月 5 日（水）～平成 31 年 1 月 20 日（日） 32 日間
第 VI 期	平成 31 年 1 月 23 日（水）～2 月 24 日（日） 29 日間
第 VII 期	平成 31 年 3 月 2 日（土）～3 月 31 日（日） 26 日間

ウ 常設展 「碧南の歴史と文化」

名 称	会 期 ・ 内 容
第Ⅰ期	平成30年5月12日(土)～8月12日(日) 78日間 碧南の文化財11「瓦師・永坂奎兵衛 Part2」
第Ⅱ期	平成30年8月18日(土)～11月25日(日) 75日間 碧南の古文書10「平和用水 Part2～新収蔵資料とともに～」
第Ⅲ期	平成30年12月1日(土)～平成31年3月24日(日) 85日間 碧南のできごと4「大浜半田間渡船廃止50年」

エ 共催展等

(ア) ワークショップ作品展

会 期	平成30年6月12日(火)～7月8日(日) 24日間
-----	----------------------------

(イ) HEKINANからそれぞれのスピリッツ展IX

会 期	平成30年6月12日(火)～6月24日(日) 12日間
-----	-----------------------------

(ウ) 第11回碧南文化協会選抜美術展

会 期	平成30年6月30日(土)～7月8日(日) 8日間
-----	---------------------------

(エ) 市史資料収蔵品展

会 期	平成31年3月2日(土)～3月31日(日) 26日間
-----	----------------------------

(オ) 第6回碧南市民アンデパンダン展

会 期	平成31年3月12日(火)～3月24日(日) 12日間
-----	-----------------------------

オ 教育普及

市内小中学生の美術館学習、出前講座、市民の参加できるワークショップや、
展覧会内容にふさわしい講演会を開催します。

カ 保存

館内の空気環境調査や文化財害虫生息調査を実施し、作品の安定的な管理に努
める。重篤な傷みのある作品に対しては順次修復を実施します。

キ 調査研究

藤井達吉及び藤井の同時代の美術を中心とした調査、ならびに各企画展実施に
向けた調査研究を行います。

2 報告事項

- (1) 平成29年度第1回、第2回収集部会の結果について
別添資料参照